

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2021 年

11 月

195号

◇ 運命に当たりハズレはあるか？
親ガチャ、上司ガチャを免れる方法！

豊 楽

玉川 出



宗教法人 真生会

令和三年信仰目標

仏の種を育てよう！

『一人が一人、仏縁にお誘いしよう』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）



導師式衆・奉献女子行列入場

大観音祭り



大観音さま尊前にて会長先生・式衆による読経供養



胎内仏ご奉安



子孫繁栄総供養読み上げ（会長夫人）

大観音祭り会長先生ご真教法話

観音さまの「すべての人の苦しみを代わりに受けて救ってあげたい。世界中を平和にしてあげたい」という「大悲代受苦」のお心のように視野の広い、スケールの大きな信仰を目指しましょうとご真教された。



コロナ対策リモート参拝
名古屋教会↑ 大阪教会→



和気あいあい昼食タイム!!
青空のもと、お祭り広場にて



開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁



「馬鹿と叫べば、馬鹿と戻る」「ありがとうと叫べば、ありがとうと戻る」これは山彦であります、私達の人間生活も、自分の心使いは、必ず相手にこだまして自分に戻ってくるのが真実です。今日喜べないという人は、誰のせいでもありません。日頃から周囲の人に喜びが与えてないので喜びが戻ってこないのだ、人を見て馬鹿扱いするから馬鹿な行動や言葉が、わが身に戻ってくるのだと悟り、自らの言動を改めなければなりません。

人間関係がなぜうまく行かないのか？

それは、真実を言い過ぎるのが原因である。親しい間柄ほど、方便（相手を喜ばす方法）を上手に使うのが和合への近道なのです。

（1979年、真実に生きる10号より）

ご真教法話

会長 田中 庸仁
た なか つね ひと



◇運命に当たりハズレはあるか？

ズバリ申し上げれば、運命に当たりハズレはありません。宝くじには、当たりハズレがありますが、それとても、くじを引いたのは自分の責任であり、自分の徳分に応じた当たりくじなのです。

つまり、自分に訪れる運命はすべて大当たりであり、必然なのです。今日の結果は自分の蒔いた種であり、自分で刈り取るより他はないのです。しかし、逆に言えば、自分の力で刈り取り、運命を変えることができるのですから、嘆いたり絶望することはありません。

開祖さまは「宝くじの一等賞を当てる方法」はハズレくじを全部引いてしまえば、最後は必ず当たりが残る。当たりが出るまで、腐ったり諦めたりせずに「喜んで引き続けることである」と教えられました。果たして、人生の中で自分に

とって都合の悪いくじを「いつかきつと良くなる、きつと当たりはある」と信じて引き続けることができるかということです。途中で止めたらハズレくじの人生のままです。

◇親ガチャ、上司ガチャを免れる方法！

最近「親ガチャ、上司ガチャ」という言葉が流行^{はや}っています。スーパーや商業施設の入り口に、子供向けの「ガチャガチャ」とか「ガチャポン」というゲーム機があります。お金を入れてレバーを回すと人気のカードやキャラクターのフィギュアなどが出てくるゲーム機です。器械の外からは何が入っているか見えるのですが、お目当ての商品はなかなか思い通りには出て来ないのです。つまり自分で何が出てくるかを選べないのです。

そのことになぞらえて、自分で親は選べない、自分で上司は選べないので、いい親やいい上司に恵まれなかったことをハズレくじの「親ガチャ、上司ガチャ」というのだそうです。

きつと「夫婦ガチャ、子供ガチャ、部下ガチャ、仕事ガチャ、会社ガチャ、国ガチャ、時代ガチャ」などいろいろなガチャがあると思います。嫌であった

り、ハズレだと思えば、自分の意志で変えられるガチャもあります。夫婦も再婚できますし、会社も転職出来ます。仕事も嫌なら止められます。上司や部下が嫌なら、転職願いを出すこともできます。国籍を変えて望む国に住むこともできます。しかし、親子の因縁だけは、たとえ戸籍を離脱しても切ることは出来ません。因縁と影法師はどこまでもピッタリ付いてくるのです。

仏さまの教えからいうと、親を選べないのではなく、前世の因縁で自分にふさわしい親を選んで生まれて来て、「業」を果たすのだと言われます。

運とは「運命」の事であり、その人の命の運び方によって運命は変わるものです。命には「天命、宿命、使命」の三つの命があります。天命、宿命は自分の力ではどうにもなりません、使命は自分の考え方でどのようなようになります。つまり、自分の役割という命の使い方、心の舵取り次第で、大海原に出ることも出来れば、岩礁がんしょうに乗り上げ人生が座礁ざしょうする人もあります。

仏教、特に法華経の教えは希望の島に到着するための、正確無比の羅針盤らしんばんなのです。信仰心もなく、ましてや師匠の無い自分先生の信仰や人生は、羅針盤を持たず、めくらめっぼうに自分の感や思い付きだけで大海を進む船と同じで、

最後は目的地にも着けず、大波や嵐の中で沈んでしまうのです。

◇ガチャ（はずれ）にならない方法

眞実マコトは自分の徳分トクブンにふさわしい親のお腹を借りてこの世に誕生するのですから、今世において「慈悲、誠、堪忍」の三徳を実践して徳を積むことです。つまり、人の喜ぶ善いことをたくさんする。人に情けをかけ、施しの強い人となる。何事も良きに考えて喜び多い生活をする。この徳を積んでおけば、将来は希望の人生となり、来世は生まれながらにして長者チヤウジャの家イヘに生まれるのです。

反対に「貪、瞋、痴」の三毒の生活、つまり欲深で施し少なく、不平や愚痴の多い乞食根性こじきこんじやうで今世を終われば、来世は乞食の腹に宿やどるのです。

親の心を汲んである人は上司運に恵まれ、面倒な家事手伝いも喜んでしてある人は仕事運に恵まれます。親を尊敬し親孝行のしてある人は、結婚相手にハズレはありません。

最近さいきんは若者だけでなく、年配者でも信仰心の無い人が増えていますが、人生の第四コーナーに差し掛かっている老人ほど、正しい信仰心をしっかり持ち、徳積みの総仕上げを早くしておかないと来世の幸せは得られないのです。

前途ある若者よ、早く信仰に目覚めよ。残り時間の少なくなった老人よ、徳積みを急ごう、認知症になったり、養老院に入る前にしっかり徳を積んでおきましよう！

◇一流の考え方を真似る

アメリカ大リーグでの大谷翔平選手の二刀流の超人的な大活躍に日米ともに盛り上がりました。ほとんどの解説者は、その偉業を賞賛するとともに「ゆっくり休むこと。無理をしてとにかく怪我をしないように」と異口同音に常識的なコメントでしたが、たった一人、やはりスーパースターであつたイチロー選手は意味深いコメントでした。

「アスリートとしての時間は限られる。考え方はさまざまだろうが、無理はできる間にしかできない。2021年のシーズンを機に、できる限り無理をしながら翔平にしか描けない時代を築いてほしい」と、さすが超一流選手のコメントは違います。そして、大谷選手も「トレーニング自体をもっともっとハードなものにしたいなと思いますし、まだまだ上にいけると思っていますので、今年以上のパフォーマンスが出せるような、そういうオフシーズンにした

いなと思っています」と現状に満足することなく、さらなる高みを口にしたのは、やはりさすが超一流のコメントでした。

真生会の開祖さまも「無理をしないで無理をする」「ゆつくりするのはあの世でいい」「死ぬまで生きる」の名言の通り、入寂されるその日まで会員信者の相談を受けられ、生涯現役の人生でした。

「無理をしないように」していれば、無理のきかない体になっていきます。頭も常に人さまの幸せを考え使っていればボケませんが、自分の事ばかりや余生の安楽のことにしか頭を使っていまないと働きが弱くなり、認知症やボケが進むのです。お金も自分の事だけに使っていたり、貯めているだけでは力を失います。

老人だけではありません。若者とても「若年寄り」のように楽をして儲けることや無理をせず楽をすることをばかりを考えているようでは、大谷選手やイチロー選手のような一流には成れません。一流を真似れば一流になり、二流三流を手本にしているは本当の成功と幸せは得られません。法華経は、誰もが一流の生き方ができる人生の手引書です。一日も早く、一刻も早く学びましょう！

釈尊物語

⑮

◇◆自らの悪行を停止せよ◆◇

コーサラ国に多くの人を殺し、その指を切つて首飾りを作り、首にかけているという殺人鬼、アングリマールがいました。ある時、お釈迦さまは人々が恐怖に怯えて（おび）いるという噂（うわさ）を聞かれ、「私が教化（きやう）しよう」と会いに出かけられました。

アングリマールは、悠々と歩かれるお釈迦さまを殺そうと襲いかかるのですが、お釈迦さまの神通力により、衣服に触れることもできません。彼は狂ったように追いかけるのですが、どうしても追いつけません。

疲れ果て立ち止まってしまったアングリマールが「沙門よ、止まれ」と叫ぶと「私は停止している。アングリマールよ、汝も停止するがよい」と、お釈迦さまは威厳（いげん）ある言葉で返されます。

「沙門よ、あなたは歩いているのに停止しているという。わたしは停止（と）しているのに、なお停止せよという。その意味が分からない。どんな理由であなたは停止し、私は停止していないのか。」

「アングリマールよ、私は欲望（うろ）や怒（にく）しみ、怒りという心を停止している。だから人を害することはない。しかし、汝は生命（いのち）ある者に対して自らを制することなく命を奪い続けている。だから、私は停止しており、汝ははまだ停止してい

ないというのである。」

アングリマーラは、お釈迦さまに歩行の停止を呼びかけたが、お釈迦さまは彼に《悪行の停止、殺戮さつりくの停止》を諭さとされたのです。尊い説法により教化され、仏性に目覚め改心したアングリマーラは、仏弟子になり修行することを誓いました。

頭をそり、袈裟けさをまとい出家したアングリマーラは、町に毎日托鉢たくはつに出掛けますが、彼に家族の命を奪われた人々に石を投げられ棒で撃たれ、血まみれ傷まみれになって精舎しょうじやに帰って来ます。

お釈迦さまは「比丘よ、忍べ。忍んで受けるがよい。汝はいま、長く他た生しょうにわたって受けねばならぬ悪業を、いま

今生こんじようにおいて償つぐなっているのだ。比丘よ、忍べ。苦しみから逃げてはならない。受けるべき業は、受けなければならない。自ら蒔いた悪業の種を自らがしっかりと受けて刈り取れば、必ず世間の認める所となり、幸せになれるのである」と、厳しくも慈悲あふれるお言葉をもって励まし、支えられたのです。

逃げることなく、罪を償いながら精進を続けたアングリマーラは、やがて人々に赦ゆるされ信賴を得て、悩み苦しむ人々を救う人間に生まれ変わったのです。

たとえ殺人鬼と言われるような人でも、お釈迦さまの教えに深く帰依して慈悲心を持つことで、生まれ変わることができるのです。

今月の運勢（12月）

（2021年12月7日～2022年1月4日）

一 白水星

やるべき目標がないとダメ。パワーが足りず、不安定な時期なので、大きな活動をするより、足下をしつかり固めること。時流に逆らわず、ひたすら慎重にしておとなしく時を待つこと。

二 黒土星

一陽来復。沈んだ太陽が再び昇るように、去った人や散った者が戻ってくる。枯れ木に花を咲かせ、ゼロになったものを復活させるチャンス。積極的に行動する好機だが慌てないこと。

三 碧木星

絶好調の時を迎えた。

勢いに乗って人脈と活動範囲を思い切って伸ばそう。一貫性、継続性が大切だが、停滞してはいけない。熱意を失うと思いがけなく勢いを失うので要注意。

四 緑木星

忙しく飛び回ってきた足を一旦止めて心身ともに休養する時。今日まで進めてきたことを完成させるために、今は行動は控えてエネルギーをしっかりと蓄えておこう。

五 黄土星

新しい事を始める時ではない。今やっていることをスピード感を

もって完成させる時。

上位者の助言や協力が得られるので、自分の方から勝れた経験者を訪ねるとよい。

六 白金星

柔よく剛を制する。強い者には柔和をもって対抗すること。平素より自分の分に応じた生活を中心、道を外さなければ何か事が起こっても案ずることはない。治まっていく。

七 赤金星

何事を行うにも、動機が正しければ必ず通る。しかし、心に邪念や欲があるとうまく行かない。常に無我無私を保ち、先入観を待た

ないことが成功の秘訣である。

八 白土星

情熱が湧き、アイデアも湧えているが大きな事を行う時ではない。見た目の華やかさに惑わされてはいけない。実質をよく見極めて、慎重に行うこと。怒りはすべてをダメにするので注意すること。

九 紫火星

目標の一手手前で停滞し、未完成の状態である。しかし、何事も未完成に可能性と魅力が隠されている。自分の特性を生かして諦めずに進めば、必ず願い事は達成できる。

「まごころ誌代」御礼

石丸祐視子	久保絹明	土川康二	田中宏明	加納優子
樋口容子	久保香代子	土川廣美	亀井善二	加納宏樹
樋口恵美子	久保真輝	横山知津子	亀井善広	加納快志斗
長尾かれん	野村佳那衣	半澤照子	亀井由実子	堀部恭利
小村友子	奥田佳代	伊東 晃	高橋身衣	松尾定洋
林田哲嘉	今井龍廣	安田初子	早野桂子	多田正幸
今井純司	笹原トミ子	佐藤百々枝	豊田直正	多田道子
村上視佑記	笹原正子	佐藤光洋	豊田真悠子	宮田裕加里
小林佑実子	谷口祐晟	山本季美衣	早野起世	河合健司
三村千佳	谷口祐子	川瀬 勇	笠井和樹	河合愛実
滝山恵依子	堀田純子	滝本光夫	笠井隼太	河合詩遠
荒木敬依子	細谷早予子	福元正子	笠井稜介	河合里紗
八色由奈	平口富子	岸本昌子	足立和美	河合央真
坪井佑介	今園達也	高橋けさ江	足立恵衣子	松本裕樹
永田雅子	松下若葉	四日市某	宮田雄貴	澤 君美
出田梓	正木みつ子	京川春男	多田佳央	澤 芳子
宮島りえ	林田早紀子	田中庸仁	國井佑浩	加納啓至
某女	土川順寛	田中佑季子	水田祐記子	鈴木光隆
坂本育身	土川恭代	田中啓予	加納悠貴	古代あや子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもつて感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

世界の平和や人様の幸せを
願う視野の広い人、
スケールの大きい人には、
大きさにふさわしい幸福が
訪れる。
自分の願い、我が家の幸せ
だけで満足していては、
スケールの小さな自己満足
信仰となってしまう！

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。